

20 文法のまとめ 助動詞の意味・用法

| | |
|----|--|
| 組 | |
| 番号 | |
| 氏名 | |

① 次の①～⑧の——線部と同じ意味・用法のものを、後から一つずつ選び「」に記号を書きなさい。

① 妻は花粉症に悩まされつづけていました。

ア 春はゆっくりと南風に運ばれてきます。

イ 先生はにっこりと笑われました。

ウ 自分の失敗がたいへん悔やまれます。

エ 私はうれしくて眠れませんでした。

② 海の汚染が進むと、自然の恵みを受けられなくなります。

ア 先生が家庭訪問に来られました。

イ 私は好き嫌いがないので、何でも食べられます。

ウ 仕事を手伝って、父にほめられました。

エ 秋の気配がなんとなく感じられます。

③ こちらの作戦をよまれた。

ア 和解の交渉はこじれた。

イ とても楽観的な気分にはなれない。

ウ おとりに意識が縛られたのだ。

エ 話合いの申し入れはない。

④ なんだかんだと争いが絶えない。

ア 話を聞く必要はない。

イ 今日には忙しくない。

ウ 宇宙は果てしない。

エ 明日は雨が降らない。

「」

⑤ 霧の中に浮かぶヨットのようにぼんやりと輪郭を失っていた。

ア 早く泳げるようになりたい。

イ 毎日必ず泳ぐようにする。

ウ どうか泳ぎが上達しますように。

エ 水面を滑るように泳いだ。

⑥ 卒業生はみんな幸福そうだった。

ア 彼は外国に留学するそうだ。

イ 友達はみんな泣きそうだ。

ウ そうだ、写真を撮ろう。

エ 明日は、雨になるそうだ。

⑦ 雪の降る朝は静かだ。

ア もうすっかり春だ。

イ 旅行の準備が済んだ。

ウ 明日の夜は晴れそうだ。

エ 彼はいつでもさわやかだ。

⑧ 母親かだれかからもらったのであろう。

ア 急いで引き返しましょう。

イ 今頃、さぞつらかろうと思います。

ウ ぼくとも一緒に行こうと決心した。

エ さあ行こう、元気だして。

「

」

「

」

「

」

「

」